

大雨に備えましょう!

大雨が降ると



梅雨期、台風期においては、例年、全国各地で局地的大雨や集中豪雨が観測され、河川の急な増水や氾濫、土砂災害等により多数の人的被害及び住家被害が発生しています。

集中豪雨、局地的豪雨ってなに?



- **集中豪雨**
前線や低気圧の影響や雨を降らせやすい地形の効果によって、積乱雲が同じ場所で次々と発生・発達を繰り返すことによって、激しい雨が数時間にわたって降り続き、数百ミリの総雨量となる。
- **局地的豪雨**
単独の積乱雲が発達することで、大雨や洪水の注意報・警報が発表される状態でなくても、狭い範囲で数十分の短時間、数十ミリの急な強い雨が降る。

大雨時に注意すること



- **情報収集に心がけましょう!**
 - 最新の防災気象情報を収集する。
 - 得た情報により、早め早めの安全確保行動をとる。
 - 気象庁は、「顕著な大雨に関する気象情報」などの気象情報を発表しているので、ニュースで「気象庁が警戒を呼びかけている」という言葉が流れたら、注意していく。
- **日頃の備え**
 - 窓や雨戸はしっかりと鍵をかけ、必要に応じ補強する。
 - 側溝や排水溝は掃除して水はけを良くしておく。
 - 資機材の固定をしっかりとしましょう。
 - 非常用品の確認
懐中電灯、携帯ラジオ、救急用品、衣類、非常食など
 - 水の確保
 - 室内からの安全対策(窓ガラスの補強)

普段から準備し、災害に備えましょう!!